



2016年2月3日
リパミン広報センター

リパミン広報センター主催によるP S 無料セミナーを開催 P S（ホスファチジルセリン）の研究レビュー（SR）結果とエビデンスを紹介

リパミン広報センター（DKSHジャパン、ビーエイチエヌ株、株ヘルシーナビ）が共同で進めていたP S（ホスファチジルセリン）の研究レビュー（SR）の結果とエビデンスを、P Sをはじめ多くのスポーツニュートリション素材の研究・開発に携わるラルフ・イエーガー博士（米国 Increnovo 社取締役）と共に無料セミナーにて報告いたします。

P Sは、アミノ酸の一種であるセリンとリン酸、グリセロール、脂肪酸が結合した物質であり、水溶性・油溶性の両方の性質を持つリン脂質の一種。リン脂質は生物の細胞膜を構成する重要な成分であり、体を構成しているすべての神経細胞の膜に存在している。特に脳や神経組織に多く含まれ、脳の機能に重要な化学物質であり、ヒトの脳の全リン脂質の約18%を占めるとも言われているため、「脳の栄養素」とも呼ばれています。

欧米で多くのアルツハイマー症や老人性痴呆症の治療薬として実績があり、米国では、認識力の低下を抑える、認知症のリスクを抑える旨が表示されています。

日本においても今年4月に制度がスタートした「機能性表示食品」にP Sの脳機能に関する表示が出来ないのかという要望が多く寄せられていました。

そこで、リパミン広報センターは日油株式会社と共同で、P Sを機能性表示食品制度に対応した素材とするため、「脳機能改善」と「ストレス低減」という機能性に関して共同で研究レビューを実施し、すでに、届出資料の別紙様式(V)に準拠したレビューを提供しております。

つきましては、これらの研究レビュー結果や関連するエビデンス、また、P S先進国であるアメリカ市場の最新状況を無料セミナーにて紹介いたします。

【セミナー日程】

会場：ガーデンシティ御茶ノ水(旧お茶の水CC) カンファレンスルーム 3E

日時：2016年2月25日(木) 13:30~16:30

題目及び演者：別紙案内文書をご参照ください。

【当該記事に対する問い合わせ先】

リパミン広報センター（代表）
ビーエイチエヌ株式会社
東京都千代田区神田錦町 1-16
営業部門 亀山隆
TEL:03-5281-5661